

第68回 2025年 紙パルプ技術協会 年次大会プログラム 「資源を活かし、未来に紡ぐ循環型社会とともに進化する紙パルプ産業」グランシップ					
10/8	A会場 中ホール				
11:00-11:30	中ホール・大地 ・開会の辞・佐々木賞 表彰式				
	昼食休憩 (90分)				
13:00-13:30	中ホール・大地 ・基調講演 紙パルプ技術協会 理事長 長谷川 一郎				
13:30-15:00	中ホール・大地 ・特別講演S-1「紙、パルプ、セルロース、木質材料と自動車」 静岡大学 農学部ふじのくにCNF寄付講座 特任教授 兼トヨタ車体株式会社 材料技術部 主査 西村 拓也				
休憩 30分	A会場 中ホール・大地			B会場 6F交流ホール	
	調成・ウエットエンドセッション1 司会:大王製紙(株) 二宮 生吉			DXセッション1 司会:日本製紙(株) 山崎 和男	
15:30-15:50	A 1	リアクティブポリマー技術導入の歩留り剤・凝結剤「リアライザーシリーズ」 ソマール(株) 但木 孝一		B 1	e-無線巡回の開発と活用 日本製紙ユニテック(株) 藤山 道博
15:55-16:15	A 2	次世代型ロジンサイズ剤の開発 CHEMIPAZ(株) 村上 幸大		B 2	データプロダクトによる部分最適から全体最適への移行～SHINKAWAプラットフォームコンセプト～ 新川電機(株) 伊藤 祐治
16:20-16:40	A 3	ロジン系バイオマス樹脂の開発と応用展開 ハリマ化成(株) 林 俊介		B 3	製造現場の生産性向上に貢献するDX/GX製品 (株)TMEIC 久保田 馨
	休憩 (10分)				
	CNFセッション1 司会:中越パルプ工業(株) 高山 康明			DXセッション2 司会:王子ホールディングス(株) 瀧山 吉宏	
16:50-17:10	A 4	セルロースナノファイバー射出成形材料のカバー部品への適用 ヤマハ発動機(株) 高橋 宏明		B 4	SmartPapyrusが実現する製紙工程DX化のトータルソリューション (株)メンテック 下 貴行
17:15-17:35	A 5	未来に豊富な資源を残すためにーセルロースナノファイバー高配合率樹脂の特長と実用化に向けた取り組みー エフピー化成工業(株) 赤澤 英郎		B 5	予兆診断サービス「Kuri-smart [®] 」による操業と製品品質の改善 栗田工業(株) 森 宏之
17:40-18:00	A 6	CNFを活用したbaraio(バライオ)化粧品 (株)コーヨー化成 柏木 敏		B 6	製品欠点等の予兆診断システムを活用した操業性の改善 北越コーポレーション(株) 渡辺 健
19:00-21:00	懇親会 ホテルグランヒルズ静岡 5F「センチュリールーム」				

10/9		CNFセッション2 司会:大王製紙(株) 二宮 生吉		DXセッション3 司会:日本製紙(株) 山崎 和男	
9:00-9:20	A 7	リン酸エステル化セルロースナノファイバーの特徴と開発事例		B 7	P&Sサービスセンターと連携したお客さま設備の操業改善
		王子ホールディングス(株) オ 貴史			
9:25-9:45	A 8	セルロースナノファイバー(nanoforest)の用途展開の可能性		B 8	プロセス産業の多様なレベルへのAI導入実現について
		中越パルプ工業(株) 橋場 洋美			
9:50-10:10	A 9	セルロースナノファイバーを用いた蓄電体の開発		B 9	製紙部門におけるDX推進・デジタル人材育成の取組み
		日本製紙(株) 矢田 実			
10:15-10:35	A10	CNFを用いた全熱交換エレメント用ライナーの開発		B10	チップ配船計画作成におけるAIの活用
		王子産業資材マネジメント(株) 山田 善之			
休憩 (25分)					
		CNF3/調成・ウエットエンドセッション3 司会:中越パルプ工業(株) 高山 康明		省エネルギーセッション 司会:王子ホールディングス(株) 瀧山 吉宏	
11:00-11:20	A11	再生微細化セルロース原料の社会実装への取り組み		B11	工場の省エネルギー・コンプレッサーの新しい省エネ手法
		丸富製紙(株) 八木 英一			
11:25-11:45	A12	GX志向型表面紙力増強剤 ～実用的機能と高性能化～		B12	八戸工場における省エネルギーの取り組み
		荒川化学工業(株) 服部 大志			
11:50-12:10	A13	“Cleaner and Greener Future” 酵素の力でサステナブルな製紙技術の発展を目指したバイオケミカルアプローチ		B13	真空装置(リニアタービン真空ポンプ)導入による省エネと操業経験
		(株)日新化学研究所 池田 翔			
昼食・休憩 (60分)					
13:10-14:40	中ホール・大地 ・特別講演S-2「仕事の生産性を飛躍的に向上させるモノと思考の整理術」				
	片付けパパ 代表 大村 信夫				
休憩 (30分)					
		資源循環セッション 司会:大王製紙(株) 二宮 生吉		カーボンニュートラルセッション 司会:日本製紙(株) 山崎 和男	
15:10-15:30	A14	ニュータイゼンによる段ボール古紙中の革新的な粘着異物除去技術		B14	国際液化水素サプライチェーン構築への取組みと脱炭素への貢献
		(株)大善 上田 沙紀			
15:35-15:55	A15	リファイナー活用展開事例		B15	東京ガスのe-methane・バイオメタン社会実装に向けた取り組み
		相川鉄工(株) 岩谷 陽一郎			
16:00-16:20	A16	サステナビリティへの貢献に寄与するバルメットの技術		B16	Daigasグループ エネルギートランジション2050
		バルメット(株) 西原 禎朗			
休憩 (10分)					
		バイオリファイナリーセッション 司会:中越パルプ工業(株) 高山 康明		プラスチック代替セッション 司会:王子ホールディングス(株) 瀧山 吉宏	
16:30-16:50	A17	パルプ工場における商業グレードのバイオメタノールの製造プロセス ANDRITZ KRAFTANOL™		B17	紙の透明化検討「透明化し易い包装用紙サンカヨウの開発」
		アンドリッツ(株) 吉田 令			
16:55-17:15	A18	リグニンスルホン酸の有効利用		B18	マイクロセルロースビーズの市場展開Ⅱ
		日本製紙(株) 中村 明彦			
17:20-17:40	A19	木質由来糖液・エタノール・ポリ乳酸の製造検討と今後の展開		B19	・使い捨てプラ削減と紙容器の取組～ストローレス学乳容器～
		王子ホールディングス(株) 野口 裕一			
移動 (10分)					
17:50-18:00	中ホール・大地 閉会式				

10月8日(水)

10月9日(木)

第68回 2025年 紙パルプ技術協会 年次大会プログラム 「資源を活かし、未来に紡ぐ循環型社会とともに進化する紙パルプ産業」グランシップ				
A会場 中ホール				10/8
中ホール・大地 ・開会の辞・佐々木賞 表彰式				11:00-11:30
昼食休憩 (90分)				
中ホール・大地 ・基調講演 紙パルプ技術協会 理事長 長谷川 一郎				13:00-13:30
中ホール・大地 ・特別講演S-1 「紙、パルプ、セルロース、木質材料と自動車」 静岡大学 農学部ふじのくにCNF寄付講座 特任教授 兼トヨタ車体株式会社 材料技術部 主査 西村 拓也				13:30-15:00
C会場 10F 1001会議室		D会場 11F 会議ホール・風		休憩 30分
仕上げ・物流セッション 司会:王子マテリア(株) 武 嘉徳		計測セッション 司会:北越コーポレーション(株) 河原 秀年		
C 1	操業現場の最適化を支援する『TMoptimizer』 (株)TMEIC 篠崎 寛明	D 1	サトロン社の最新光学測定技術によるプロセス制御の最適化 エムアイ計装システム(株) 中垣 圭太	15:30-15:50
C 2	紙を積む、AIが決める～AIによる荷積み計画最適化 横河デジタル(株) 劉 琢	D 2	抄紙工程における問題の分析装置 “Tapio Analyzer”の紹介 野村商事(株) 野村 和広	15:55-16:15
C 3	BHSコルゲートが提案する原紙搬送自動化ソリューション“iMotion” BHS/伊藤忠マシントクノス(株) 石田 優	D 3	高精度測色機による生産ライン内でのクオリティ管理とロスの削減 エックスライト社 福原 宏之	16:20-16:40
休憩 (10分)				
調成・ウエットエンドセッション2 司会:三菱製紙(株) 西林 俊裕		設備・保全セッション1 司会:日本製紙(株) 細川 幸司		
C 4	スクリーンの希釈水アップグレード～歩留まり改善で実現する、原材料コストの最適化～ アンドリッツ(株) 神田 隆	D 4	製紙工場における軸受保護用シールの課題と取組み 福田交易(株) 石井 泰史	16:50-17:10
C 5	製紙会社における様々な硫化水素対策 アクアス(株) 蔵本 大揮	D 5	回転機用カップリングー課題解決の取組みー 鉄原実業(株) 丸山 航太郎	17:15-17:35
C 6	マイクロバブル発生装置導入による加圧浮上装置の省エネ 王子マテリア(株) 大槻 圭亮	D 6	高圧電力ケーブル事故に備えて ケーブル活線下絶縁自動監視装置によるO&M提案 住友電気工業(株) 加藤 光詞	17:40-18:00
懇親会 ホテルグランヒルズ静岡 5F「センチュリールーム」				
				19:00-21:00

家庭紙セッション1 司会:王子マテリア(株) 武 嘉徳			設備・保全2/防虫セッション 司会:北越コーポレーション(株) 河原 秀年			10/9
C 7	エアー式シュプレスロール (ANDRITZ PrimePress XT Evo) アンドリッツ(株) 花田 知弘		D 7	3Dスキャナを用いたボイラ内水管減肉非破壊検査技術の開発と最新動向 検査サービス(株) 川下 修司		9:00-9:20
C 8	レーザーセンシングとスプレー技術によるヤンキーコーティングの最適化 (株)メンテック 井出 翔太		D 8	老朽化の建屋設備に新たな命を吹き込むー新工法で再生、延命化の最前線へー (株)染めQテクノロジー 後藤 貴行		9:25-9:45
C 9	嵩アップ・坪量減や長尺化に役立つ最新クレーピングブレードのご紹介 フォイトターボ(株) 安渡 司		D 9	マイクロフィブリル化セルロースを利用した生分解性ハイドロジェルベイト剤のアルゼンチンアリオおよび各種アリ類に対する殺虫効果 イカリ消毒(株) 富岡 康浩		9:50-10:10
C10	フォイト社のヤンキーシリンドラーオンサイトサービス: 最新現地調査・研磨・溶射のご紹介 (株)IHIフォイトペーパーテクノロジー 味岡 信明		D10	効率的な防虫防そ管理のための新しいモニタリング手法について アース環境サービス(株) 藤本 健治		10:15-10:35
休憩 (25分)						
家庭紙セッション2 司会:三菱製紙(株) 西林 俊裕			抄紙セッション1 司会:日本製紙(株) 細川 幸司			
C11	家庭紙生産設備へのKAWANOETータルエンジニアリング 川之江造機(株) 篠原 智之		D11	7号抄紙機 増速改造後の操業経験 レンゴー(株) 塙 慧		11:00-11:20
C12	ティッシュ生産を革新するValmetの先端自動化ソリューションー統合ソリューションが切り開く未来への道筋ー バルメット(株) 奥山 洋平		D12	リアルタイム計測のすゝめ (Wet end、マシン編) ABB(株) 依田 裕道		11:25-11:45
C13	イタリア包装機メーカーTMC社およびOMET社のヨーロッパユーザーのニーズとそれに適応する包装機について (株)新生 富山 豊土		D13	各種素材のテスト経験 (株)小林製作所 池谷 善行		11:50-12:10
昼食・休憩 (60分)						
中ホール・大地 ・特別講演S-2「仕事の生産性を飛躍的に向上させるモノと思考の整理術」 片付けパパ 代表 大村 信夫						13:10-14:40
休憩 (30分)						
パルプセッション1 司会:王子マテリア(株) 武 嘉徳			抄紙2/研究開発セッション1 司会:北越コーポレーション(株) 河原 秀年			
C14	新型回転式濃度計 MEK-STRATUSのご紹介 BTG インストルメンツ カタリーナ ザリーニ		D14	カメラ・モニター装置と脱水エレメント製品の融合による新たなウェットエンドセッション最適化の提案 アイビーエスジャパン(株) 森谷 大樹		15:10-15:30
C15	リアルタイム計測のすゝめ (パルプ編) ABB(株) 依田 裕道		D15	異なる粒径のタルクおよびGCC混合充填材の保留に対するカチオン性ポリアクリルアミドの分子量の影響ーWEPSIによる充填材保留挙動のケーススタディー 三宝科学(株) 柳 政庸		15:35-15:55
C16	ヴァイサラの革新的濃度計測ー省エネルギーと品質向上の両立 ヴァイサラ(株) 夏井 敬史		D16	コピー用紙及び印刷用紙の比較可能なCFP算定ルール 日本製紙連合会 河崎 雅行		16:00-16:20
休憩 (10分)						
パルプセッション2 司会:三菱製紙(株) 西林 俊裕			研究開発セッション2 司会:日本製紙(株) 細川 幸司			
C17	紙・パルプ分野における酵素製剤の革新と新戦略 (株)理研グリーン 望月 久美子		D17	加温処理による紙の低密度化に関する検討 静岡県工業技術研究所 齊藤 将人		16:30-16:50
C18	クラフトパルプ工程におけるKuritaの新たな水処理技術 アルカリ回収工程に着目したアプローチ 栗田工業(株) 山本 英男		D18	フッ素フリー耐油紙の開発 王子エフテックス(株) 守田 仁哉		16:55-17:15
C19	石灰ロングキルン設備 保守管理基準の再構築と操業経験 王子製紙(株) 熊倉 明		D19	抄紙技術を活用した電磁波吸収体の開発とマルチパス障害への応用 北越コーポレーション(株) 根本 純司		17:20-17:40
移動 (10分)						
中ホール・大地 閉会式						17:50-18:00

The 68th - 2025 JAPAN TAPPI Annual Meeting at Shizuoka Program GRAND SHIP ☆: Open for public				
10/8	Medium Hall-Earth			
11:00-11:30	Opening & Awards			
	Lunch (90min)			
13:00-13:30	★Key Note Address : Ichiro Hasegawa, President, JAPAN TAPPI			
13:30-15:00	Medium Hall-Earth ☆Special Lecture: “Materials made from Paper, Pulp, Cellulose, and Wood, and Automobiles”／Takuya Nishimura, Shizuoka University Faculty of Agriculture Specially appointed Professor and TOYOTA AUTO BODY CO.,LTD. Material Engineering Div. Project General			
Break 30min	Medium Hall-Earth		Reception Hall	
	Wet End session 1		DX session 1	
15:30-15:50	A 1	Application of Reactive Polymer Technology to “REALIZER Series”	B 1	Development and utilize of e-MusenJunkai
		Koichi Tadaki, SOMAR Corporation		Michihiro Fujiyama, Nippon Paper Unitech co.,Ltd.
15:55-16:15	A 2	Development of Next-Generation Rosin Sizing Agents	B 2	Shift from partial optimization to global optimization through data products
		Yukihiro Murakami, CHEMIPAZ CORPORATION		Yuuji Itoh, SHINKAWA Electric Co., Ltd.
16:20-16:40	A 3	Novel Development and Application of Rosin-Derived Biomass Resins	B 3	DX/GX products contribute to productivity improvement at manufacturing sites
		Shunsuke Hayashi, Harima Chemicals, Inc.		Kei Kubota, TMEIC corporation
Break (10min)				
	CNF session 1		DX session 2	
16:50-17:10	A 4	Application of Cellulose Nanofiber Injection Molding Material to Cover Parts	B 4	The SmartPapyrus realizes a Comprehensive Digital Transformation Solution for the Papermaking Process
		Hiroaki Takahashi , Yamaha Motor Co.,Ltd		Takayuki Shimo, MAINTeCH.CO., LTD.
17:15-17:35	A 5	Preserving Abundant Resources for the Future—Characteristics of High-Loading Cellulose Nanofiber Resin and Approaches Toward Practical Application—	B 5	Improvements in operational efficiency and paper product quality through the Predictive Diagnostic Service Kuri-smart®
		Hideo Akazawa, FP Chemical Industry Co.,Ltd		Hiroyuki Mori, Kurita Water Industries LTD.
17:40-18:00	A 6	baraio Cosmetics Utilizing CNF(Development Story - Product Lineup)	B 6	An Improvement in Operation by Utilizing a Predictive Diagnostic System for Defects and Other Issues in Paper Products.
		Satoshi Kashiwagi, KOYO KASEI		Takeshi Watanabe, Niigata Mill, Hokuetsu Corporation
19:00-21:00	Buffet Party ／Hotel Grand Hills Shizuoka			

10/9		CNF session 2		DX session 3	
9:00-9:20	A 7	Characteristics and Development of Phosphorylated Cellulose Nanofibers		B 7	Operational improvements at customer facilities achieved in collaboration with the Voith IHI P&S Service Center
		Takafumi Sai, Oji Holdings Corporation			Yohei Uetake, Voith IHI Paper Technology Co., Ltd.
9:25-9:45	A 8	Potential applications for CNF (nanoforest)		B 8	AI application implementation for various levels to process industry
		Hiromi Hashiba, Chuetsu Pulp & Paper Co., Ltd.			Kunihiko Seto, Japan Honeywell GK
9:50-10:10	A 9	Development of Energy Storage Devices Using Cellulose Nanofibers		B 9	Initiatives for DX Promotion and Digital Talent Development in the Paper Manufacturing Division
		Minoru Yada, Nippon Paper Industries Co., Ltd.			Naoya Dozono, RENGO CO.,LTD.
10:15-10:35	A10	Development of Total Heat Exchanger Element Liner with Cellulose Nano Fiber		B10	Utilizing Artificial Intelligence in Fleet Schedule Planning for Woodchip Carriers
		Yoshiyuki Yamada, Oji Industrial Materials Management Co.,Ltd			Norihisa Soen, NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD.
Break (25min)					
CNF3／Wet End session 3				Energy Saving session	
11:00-11:20	A11	Implementation of Regenerated Fine Cellulose Raw Materials in Society		B11	A new energy saving approach for compressors : saving energy for factory
		Eiichi Yagi, MARUTOMI TISSUE Co.,Ltd.			Itsuhiro Higuchi, SMC Corporation
11:25-11:45	A12	GX-oriented Paper Surface Strengthening Agents -Practical Functions and Performance Enhancement-		B12	Energy Saving Project in Hachinohe Mill
		Hattori Hiroshi, ARAKAWA CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.			Yamato Hamada, MITSUBISHI PAPER MILLS LIMITED
11:50-12:10	A13	Cleaner and Greener Future — A biochemical approach to develop sustainable papermaking technology using the power of enzymes		B13	Energy Saving and the Operating Experience through the Installation of a vacuum equipment (Linear Turbine Vacuum Pump)
		Kakeru Ikeda, Nissin Kagaku Kenkyusho Co., Ltd.			Yuki Hagiwara, Rengo Co., Ltd.
Lunch (60min)					
13:10-14:40	Medium Hall-Earth ★Special Lecture: “Organizing Things and Thoughts to Improve Work Productivity” ／ Nobuo OMURA, Founder of the Tidying Dad				
Break (30min)					
Resource Recycling session				Carbon Neutral session	
15::10-15:30	A14	NEW TAIZEN: An Innovative Approach to sticky foreign matter from Recycled Corrugated Paper		B14	Activities of Kawasaki Heavy Industries for Realization of International Hydrogen Supply Chain, and Contribution to Decarbonization
		Saki Ueda, TAIZEN CO.,LTD			Kenji Inoue, Kawasaki Heavy Industries, Ltd.
15:35-15:55	A15	Case Studies: Practical Solutions for Refiner Application		B15	Tokyo Gas's Initiatives Toward Social Implementation of e-methane and biomethane
		Yoichiro Iwatani, AIKAWA IRON WORKS CO.,LTD.			Yuji Kobayashi, Tokyo Gas Co., Ltd.
16:00-16:20	A16	Waste to Valuable products		B16	Daigas Group Energy Transition 2050
		Yoshiro Nishihara, Valmet K.K.			Yosuke Kuwahara, Osaka Gas Co., Ltd.
Break (10min)					
Biorefinery session				Substitute for Plastic Materials session	
16:30-16:50	A17	ANDRITZ KRAFTANOL™ A Process To Produce Trade Grade Biomethanol From Crude Sulphate Methanol		B17	Study on Paper Transparency: Development of Easily Transparent Packaging Paper "Sankayou"
		Ryo Yoshida, ANDRITZ			Yorihiro Masumoto, Oji Materia Co., Ltd
16:55-17:15	A18	Effective Utilization of Lignosulfonate		B18	Market deployment of Microcellulose Beads II .
		Akihiko Nakamura, NIPPON PAPER INDUSTRIES CO.,LTD.			Toshiyuki Uchida, Rengo Co., Ltd.
17:20-17:40	A19	Development of Wood-derived Sugar solution, Ethanol and Polylactic acid		B19	Reducing Single-Use Plastics with Paper-Based Packaging: The Strawless Carton for School Milk.
		Yuichi Noguchi, Oji Holdings Corporation			Ryo Miura, Nippon paper industries Co., Ltd
Break (10min)					
17:50-18:00	Closing Session				

O
c
t
o
b
e
r

8

The 68th - 2025 JAPAN TAPPI Annual Meeting at Shizuoka Program GRAND SHIP ☆: Open for public					
Medium Hall-Earth					10/8
Opening & Awards					11:00-11:30
★Key Note Address : Ichiro Hasegawa, President, JAPAN TAPPI					13:00-13:30
Medium Hall-Earth ★Special Lecture: “Materials made from Paper, Pulp, Cellulose, and Wood, and Automobiles”／Takuya Nishimura, Shizuoka University Faculty of Agriculture Specially appointed Professor and TOYOTA AUTO BODY CO.,LTD. Material Engineering Div. Project General					13:30-15:00
Conference Room 1001			Conference Hall-Winds		Break 30min
Finishing and Logistics session				Instrumentation session	
C 1	Optimizing Mill Operations in the Pulp and Paper Sector with 『TMoptimizer』		D 1	Satron's advanced optical measuring method could contribute to optimize process control.	
		Hiroaki Shinozaki, TMEIC Corporation		Keita Nakagaki, MI Keisou System Co., Ltd	
C 2	AI Decides How to Load Paper—Optimizing Loading Plans with AI—		D 2	Introduction of "Tapio Analyzer" - a problem analyzer for the paper manufacturing process	
		Taku Ryuu, Yokogawa Digital Corporation		Kazuhiro Nomura, NOMURA SHOJI CO.,LTD.	
C 3	"iMotion" by BHS Corrugated: Advanced autonomous paper roll handling solution		D 3	Proposal to control color quality and to reduce the loss in the production line by high precision color sensor	
		Yu Ishida, BHS/ITOCHU MACHINE-TECHNOS CORPORATION		Hiroyuki Fukuhara, X-Rite	
Break (10min)					
Wet End session 2				Equipment Diagnosis/Maintenance session 1	
C 4	Screen Dilution Upgrade ~ Optimizing Raw Material Costs through Yield Improvement		D 4	Addressing sealing challenges in the Pulp & Paper industry	
		Takashi Kanda, ANDRITZ		Yasufumi ISHII, Fukuda Corporation	
C 5	Approaches to Controlling Hydrogen Sulfide in Paper Mills		D 5	Coupling for rotating equipment – Solution Approach -	
		Daiki Kuramoto, AQUAS Co.,LTD		Kotaro Maruyama, Tetsugen Jitsugyo Co., Ltd.	
C 6	Energy-saving of pressurized flotation device through the introduction of microbubble generation equipment		D 6	Preventive Maintenance of High-Voltage Power Cables O&M Proposal by Automatic On-Line Cable Monitor	
		Keisuke Otsuki, Oji Materia Co., Ltd.		Koji Kato, Sumitomo Electric Industries	
Buffet Party ／Hotel Grand Hills Shizuoka					19:00-21:00

O
c
t
o
b
e
r

9

Tissue session 1		Equipment Diagnosis/Maintenance session 2／Insect Control session		10/9
C 7	Pneumatic Shoe Press Roll (ANDRITZ PrimePress XT Evo)	D 7	Latest status and development of NDI Technology for Boiler Inner Water Tube Wall Thinning Using 3D Scanner	9:00-9:20
	Tomohiro Hanada, ANDRITZ K.K.		Shuuji Kawashita, KENSA SERVICE CO.,LTD.	
C 8	Optimizing Yankee Coatings with Laser Sensing and Spray Technology	D 8	Breathing NewLife into AgingBuilding -The Frontline of Restoration and Life Extension-	9:25-9:45
	Shota Ide, Maintech Co., Ltd.		Takayuki Goto, Somay-Q Technology	
C 9	BTG high performance creping blade for bulk increase & fiber saving, and long toilet paper.	D 9	Insecticidal effects of biodegradable hydrogel bait utilizing Microfibrillated Cellulose on Argentine ants and various ant species	9:50-10:10
	Tsukasa Ato, Voith Turbo Co.,Ltd.		Yasuhiro Tomioka, IKARI SHODOKU CO., LTD.	
C10	Voith's Yankee Cylinder OnSite Service: The Latest measurement, Grinding, and Metallization	D10	The New Monitoring Methods for Efficient Pest Management	10:15-10:35
	Nobuaki Ajioka, Voith IHI Paper Technology Co., Ltd.		Kenji Fujimoto, Earth Environmental Service Co., Ltd.	
Break (25min)				
Tissue session 2		Paper Making session 1		
C11	KAWANOE total engineering for household paper production equipment	D11	Operational experience after the speed-up modification of the No. 7 paper machine.	11:00-11:20
	Tomoyuki Shinohara, KAWANOE ZOKI CO.,LTD.		Hanawa Satoru, Rengo CO., LTD.	
C12	Valmet's Advanced Automation Solutions for Tissue Production—Integrated Solutions Lead the Way for the Future—	D12	Powerful tools for real time process monitoring for Wet end and Machine optimization	11:25-11:45
	Yohei Okuyama, Valmet K.K.		Hiromichi Yoda, ABB K.K.	
C13	Packaging Solutions from Italian Manufacturers TMC and OMET in Response to European Market Demands"	D13	Trial experience of various materials	11:50-12:10
	Atsushi Tomiyama, Shinsei Co.,Ltd		Yoshiyuki Ikegaya, Kobayashi Engineering Works,Ltd	
Lunch (60min)				
Medium Hall-Earth ★Special Lecture: “Organizing Things and Thoughts to Improve Work Productivity” ／ Nobuo OMURA, Founder of the Tidying Dad				
Break (30min)				
Pulping session 1		Paper Making 2／Research and Development session 1		
C14	MEK STRATUS - applied advanced technogy.	D14	Wet-end Optimization with Camera Monitor System and Dewatering Elements	15::10-15:30
	Catalina Zarini, BTG Instruments GmbH		Taiju Moriya, IBS Japan Co., Ltd.	
C15	Powerful tools for real time process monitoring for Pulping optimization	D15	Influence of Cationic Polyacrylamide Molecular Weight on the Retention of Mixed Talc and GCC Fillers of Different Particle Sizes	15:35-15:55
	Hiromichi Yoda, ABB K.K.		Ryu Jeong-Yong, Sam Bo Scientific Co., Ltd	
C16	Innovative Concentration Measurement by Vaisala - Achieving Both Energy Efficiency and Quality Improvement	D16	Comparable CFP calculation rules for copy paper and printing paper	16:00-16:20
	Keishi Natsui, VAISALA KK		Masayuki Kawasaki, Japan Paper Association	
Break (10min)				
Pulping session 2		Research and Development session 2		
C17	Innovations and New Strategies for Enzyme Preparations in the Paper and Pulp Industry	D17	Effect of heat aging process of pulp suspension on the density of pulp fiber	16:30-16:50
	Kumiko Mochiduki, RIKENGREEN CO.,LTD.		Masato SAITO, Industrial Research Institute of Shizuoka Prefecture	
C18	Kurita's new water treatment technology in the kraft pulp process approach focusing on the alkali recovery process	D18	Development of PFAS-free greaseproof paper	16:55-17:15
	Hideo Yamamoto, Kurita Water Industries LTD.		Morita Hitoya, OJI F-Tex Co.,Ltd.	
C19	Reconstruction of Maintenance Standards and Operational Experience in Rotary Lime Kiln Systems	D19	Development of electromagnetic absorbers using papermaking technology and their application to multipath interference	17:20-17:40
	Akira Kumakura, Oji Paper Co.Ltd		Junji Nemoto, Hokuetsu Corporation	
Break (10min)				
Closing Session				17:50-18:00